

# 防災講演会

主催：岩手大学教職員組合

共催：岩手ネットワークシステム (INS) 地盤と防災研究会

～能登半島地震から学ぶ、震災と復興～

講演会  
参加無料

## 2025年5月24日 (土)

13時半開場, 14時開始

場所：岩手大学理工学部みらいAIOホール

対象：組合員、学生、一般市民

コーディネーター：山本英和 (岩手大学)

輪島市 (門前町道下)

### プログラム

当日参加可能  
右QRコードで  
参加申し込みを  
おすすめします



- ✓ 委員長あいさつ
- ✓ 序 岩手大学 山本英和  
東日本大震災とその後の日本の地震災害
- ✓ 講演 金沢大学 村田晶  
2024年能登半島地震から1年  
ー能登地域における地震被害と復旧復興への課題ー
- ✓ 質疑応答と総合討論
- ✓ 懇親会 (岩手大学生協理工学部食堂)



講師 村田晶 先生  
金沢大学理工研究域地球社会基盤学系  
(兼) 大学院自然科学研究科地球社会基盤学専攻  
地震工学講座 助教  
専門は地震防災工学。20年以上にわたり能登半島で発生した地震を含め、国内外の地震被害について調査している。



珠洲市 (野々江町)

### 懇親会

日時：5月24日 (土) 17時開始

場所：理工学部食堂

参加費：一人3,000円

申込：右にあるQRコードから

Googleフォームでお申し込みください



問い合わせ先

岩手大学教職員組合 書記局

Tel:019-621-6099

e-mail: kumiai@iwate-u.ac.jp

2024年元旦に発生した能登半島地震から1年以上が経過しました。能登半島の先端部で発生した地震のため、揺れや津波液状化の被害だけではなく、道路まで被災したため救援、復旧に困難な状況が続きました。さらに、追い打ちをかけるように8月には豪雨が発生し2重被災となっています。

今から14年前、2011年の東日本大震災や、2016年の台風10号でも岩手県は甚大な被害を受けました。被害を受けた震災直後は今後どうなってしまうだろうと思っていた方々が多数いらっしゃったと思いますが、各種方面からの多数の支援を受けて復興してきたところです。この復興過程では被災建造物の修復、防潮堤の改良および新規の設置、大規模造成による住宅の集団移転などのハード面の対応だけでなく、被災者の心のケアなどのソフト面の対策含め、いざというときの自然災害に対応するにはなどの災害文化の醸成も培われてきました。能登の災害は岩手県に住む我々としては他人事ではありません。

防災は、ハード面などの技術屋さんだけの仕事ではありません。ソフト面などは文系の知見が重要となります。さまざまな角度からの知見を総動員する必要があります。教職員組合は、普段自分の近い分野の方としか交流がない大学教員が、さまざまな別の分野の教員と交流できる数少ない組織です。そこで、岩手大学教職員組合では、防災に関する講演会を企画しました。

今回の講演会では、被災地の調査に詳しい金沢大学の村田先生をお招きして、輪島市、珠洲市、穴水町の地震被害と内灘町の地盤液状化被害についてご紹介いただきます。

特に、ライフラインのインフラである道路、水道関係の土木建造物および建築建造物の復旧、復興に向けての動きとそれらの問題点についてご講演いただきます。また、建物悉皆調査、単点微動、アレー観測などの各種調査についてもご紹介いただきます。なお、先生の講演終了後には質問および討論の時間を十分に確保して、東北と能登の災害の違い、復旧復興糧の違いなどについて意見交換をしたいと考えています。興味のある方はぜひご参加いただき、聴講のみならず討論にも参加していただきたく存じます。

講演会終了後にはささやかながら懇親会を開催いたします。組合員だけでなく、防災に興味のある一般の方々のご参加も大歓迎です。ぜひご参加いただき、さまざまな分野間の意見交換をしましょう。



珠洲市（正院町）